

業務名	令和5年度 沼津市新中間処理施設等に関する整備エリア基本コンセプト等検討業務委託
会議名	第3回 沼津市新中間処理施設等に関する整備エリア基本コンセプト等検討委員会
日時/場所	令和6年1月25日(木) 10:45~12:00 / 沼津市 水道部庁舎 1階会議室
出席者	<p>&lt;事務局&gt; 沼津市 生活環境部 新中間処理施設整備室：杉本主任 (SJ)</p> <p>&lt;検討委員&gt; 沼津市 政策推進部 政策企画課 : 室伏委員 (SK) 沼津市 産業振興部 ウィズスポーツ課 : 武田委員 (WS) 沼津市 生活環境部 新中間処理施設整備室：江藤委員長 (SS) 沼津市 都市計画部 まちづくり政策課 : 植松委員 (MS) 沼津市 都市計画部 まちづくり指導課 : 伊藤委員 (MD) 沼津市 都市計画部 市街地整備課 : 北條副委員長 (SB) 沼津市 建設部 建設デザイン調整室：鈴木委員 (KD)</p> <p>&lt;業務委託受託者&gt; 株式会社日建設計 : 高津、古賀、高部 (NS)</p> <p>&lt;その他&gt; 傍聴者 : 5名</p>

1.	<b>開会</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>江藤委員長より開会の挨拶</li> </ul>
2.	<b>報告</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>パース図を作成するにあたって、「景観に関する上位計画」「全国の類似事例」「地域特性」を整理し、景観デザインの骨子として整理している。なお、景観デザインの骨子は新ごみ焼却施設の要求水準書及び新屋内温水プールの基本計画の中に記載をする想定。資料は前回の第2回検討委員会で既に配布済みの資料となるので、詳細の説明は割愛とさせていただきます。(NS)</li> </ul>
3.	<b>協議事項 (外観デザインの検討)</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観デザインの骨子に定めた外観デザインの基本的な考え方に沿って、立面図案を2案作成した。今回、新ごみ焼却施設と新屋内温水プールの正面の外観デザインを統一するにあたって、2階レベルにルーバー材を用いた計画としている。ルーバーの色彩パターンについては、モノクロ案(水面反射案)とカラフル案の2案とした。本日の委員会の中で、各案に対してご意見頂きたい。各案の作成経緯は以下の通りである。(NS)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>*モノクロ案(水面反射案)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>整備エリアの新屋内プールの水面が揺れるイメージや、狩野川や沼津の海に空、木々、沼津の街並み等が映り込む情景を重ね合わせたイメージについて、反射を表す明るい色と、映された影を表す濃淡の2色を、異なる色合いのシルバー3色を用いて表現した。</li> <li>色の異なるシルバー3色を、乱数を用いてランダムに配色することで、他のごみ焼却施設にない唯一性のあるデザインとしている。</li> <li>背景となる外壁は、ルーバー材のシルバー色が際立つよう、暗めのウォームカラーを採用している。建物を全体</li> </ul>

的に低彩度に押さえ、周囲へよりなじむよう計画している。

\*カラフル案

- 本整備エリアは「3つのワ」をコンセプトに、人が集うエリアを目指すものとしたことから、ルーバー材としても親しみやすいカラフルな配色を採用した。
  - 従来のアースカラーやモノトーンカラーをベースとした、暗いイメージのごみ焼却施設から脱却するため、沼津市の観光プロモーションでも馴染みの「ラブライブ！サンシャイン！！」のメンバーカラー9色を用いて、明るく楽しい雰囲気を出している。
  - 同じ色のルーバー材が連続することがないように、ランダムに配色することで、他のごみ焼却施設にない唯一性のあるデザインとしている。
  - 背景となる外壁は、ルーバー材の色が際立つよう、若干暗めのウォームグレーを採用している。
- 本日体調不良で欠席している水谷先生に対して、事前にルーバー色彩パターン2案を提示したところ、以下のよう  
なご意見をいただいている。(NS)
- シルバー案、カラフル案、どちらの案でも良いデザインへの展開は可能である。
  - シルバー案は、環境に無理なく溶け込み、シンプルなものにもオリジナリティのある施設デザインが実現される  
と思われる。
  - カラフル案は、人々が集まる活発なイメージを与え、清掃工場としては、今までにない施設デザインが実現さ  
れると思われる。
  - ただし、カラフル案については、「ラブライブ！」を前面に出すことはせずに、隠れた裏テーマにする方が  
良い。対象が個別の事であるということ、施設を数十年使用することを踏まえ、将来的な展望を考慮すると、「ラ  
ブライブ！」の存在自体が不透明である。そのため、公共施設として、総合的に根拠のあるコンセプトを付与  
するものとすべきである。
- その他複数案検討してきた中で、事務局としては、本日提示した2案のうち、いずれかの案を採用したいと考  
えている。そのため、様々な観点からご意見を伺いたい。(SJ)
- 公共施設のデザインとしては、誘目性（人目を引くこと）を有しないことが基本であるが、施設の機能やコ  
ンセプトに基づいて設定されたということであれば、カラフル案でも問題はないと思われる。カラフル案にする  
ということであれば、なぜこの色にしたのか、なぜこのデザインを採用したのか、市民及び事業者に対し、し  
っかりと説明する必要がある。(MS)
- 本整備エリアの基本コンセプトに基づき、人が集まってほしい、明るいイメージを持ってほしいという思  
いから、カラフル案を採用するものとしている。(SJ)
- 色の鮮やかなルーバーを外装材として用いるのであれば、色落ち等の懸念もあるので、維持管理にも留意す  
る必要がある。(MD)
- 水谷先生のご意見にもあったように、「ラブライブ！サンシャイン！！」という言葉の説明の中で使わない  
方が良い。(MD)
- ご意見のとおり、20年後、30年後の市民に対しても、なぜこの配色としたのか、同じ説明ができる  
よう整理する必要がある。(MS)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ごみ焼却施設のデザインとして 2 案を見比べたときに、一般的な意見としては、おそらく過半数の人がモノクロ案を選ぶことが想定される。一方で、今回のようにコンセプトに準じた人目を引きやすい建物デザインにしたという目的があるのであれば、カラフル案を採用するというのも良いと思われる。(SB)</li> <li>• いずれの案にしても、景観条例等に適した計画となっているのか。(WS) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 沼津市景観計画では使用できる色彩が定められているが、「見附面積の 10%以下であればアクセントカラーとして採用できる」と規定されている。本日まで提示した 2 案については、それぞれ、ルーバー面積が外壁に占める割合は、約 5%弱となっているため、問題ない。(NS)</li> </ul> </li> <li>• 他の公共施設の事例を見る限り、個人的にはモノクロ案が良いと考えるが、人目を引くことや、遠方からも視認できる位置に目立つ建物を建てること等に対する説明がつかないのであれば、カラフル案でも良いと思う。(MS)</li> <li>• ルーバーカラーに応じて価格差はあるか。(SB) <ul style="list-style-type: none"> <li>• シルバー系であれば、メーカー指定の [二次電解着色] 仕上げから選べるが、カラフル案のようにこちら側で独自に色指定をする場合は、フッ素等による [焼付塗装] が必要となる。[二次電解着色] の費用を 1 とした場合、[焼付塗装] の費用は大体 1.5～2 が相場観である。(NS)</li> </ul> </li> <li>• 整備エリアの基本コンセプトにもあるように、長く市民に愛されてほしい、利用者にリピートしてほしいという思いを踏まえると、カラフル案が良いのではないかと。(SS) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 整備エリアに初めて訪れる人に対して目を引く施設となることから、カラフル案でも良いかとは思いますが、周辺住民の方々は毎日目にする事となるため、何かしらの配慮が必要であるとともに、なぜその色を採用したのかきちんとした説明が必要である。(SK)</li> </ul> </li> <li>• パチンコ屋のようにただ派手な施設と捉えられないように、施工段階では、きちんと現地で色の検証を行った方がよい。(MS)</li> <li>• 本日まで皆様よりいただいたご意見を踏まえ、事務局内で改めてルーバーの色彩案を検討し、最終決定した後に委員の皆様に対してはご報告させていただきます。(SJ)</li> </ul>
4.	<p><b>協議事項（景観・緑化について）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 景観デザインの骨子として整理した景観・緑化の方針を踏まえて、整備エリアの平面イメージを作成し、パース図に反映している。なお、建物立面デザインについては、本日委員の皆様にご意見を踏まえ、最終決定したデザインを、後日、反映する予定である。(NS)</li> <li>• 今後、パース図を含め検討委員会での協議事項を全て報告書として整理し、2 月下旬を目途にパブリックコメントを実施する予定である。5 月末には、広報ぬまづにて、最終確定したパース図を公表する予定である。また、基本的には、このパース図に基づいてエリア全体の整備を進めていくことを前提に、ご意見をいただきたい。(SJ)</li> <li>• 仮にルーバーカラーにカラフル案が採用される場合、今までの取りまとめた景観デザインの骨子の内容と少し矛盾が生じる事となるため、全体的に再考していただきたい。(MS)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 基本コンセプトを踏まえて、気軽に立ち寄ることが出来るごみ焼却施設にしたいのであれば、バリアフリーの観点から、階段・歩道橋の位置・形状は検討したほうが良い。平面横断の可能性等も含め再考いただきたい。(MS)</li> <li>• 整備エリアのパス図を見たときに、周辺住民がどのように捉えるかが重要であり、本整備エリアを自分達の庭のように気軽に利用できるような感覚を覚える、メッセージ性のある内容をパス図に盛り込むべきではないか。(MS) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 同様の意見であり、パス図から、基本コンセプトにある「3つのワ」が感じられない。パス図のアングルについて、広場からのアイレベルと鳥瞰レベルの2パターンで作成をおこなっているが、敷地周辺の歩行者や車両等からは、実態として、擁壁・法面・低木・煙突だけが見える構図になってしまうのではないか。そのため、法面やその上部の植栽については、現地での見え方を踏まえ、しっかりと考える必要がある。(H)</li> </ul> </li> <li>• 実際にカラフル案がパス図に反映されたときに、周囲の景観（特に背後の香貫山）と調和した見え方となるのか疑問である。(SB) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 秋の紅葉の季節に馴染むカラーではあるかとは思われるので、四季を考慮し、秋の見え方をパス図として表現する選択肢もある。(SS)</li> </ul> </li> </ul>
5.	<b>協議事項（要求水準書の記載文案について）</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• これまでの検討委員会の協議事項を踏まえ、今回、沼津市新中間処理施設整備運営事業の建設工事要求水準書に記載する文案の取りまとめを行った。ルーバーカラー等については、どの提案者に対しても同様のデザインとなるよう細かく規定をしている。要求水準書の中に余熱利用施設側の記載をするかは要相談。(NS)</li> <li>• 将来的に、余熱利用施設側の計画に対して縛りが生じることがないように、新中間処理施設の要求水準書については、余熱利用施設に関する記載を行う必要はない。(MS)</li> </ul>
6.	<b>閉会</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事務局より閉会の挨拶</li> </ul>